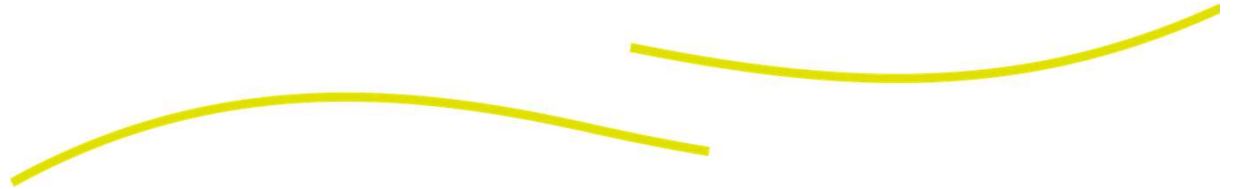


おきなわフィナンシャルグループの成長戦略

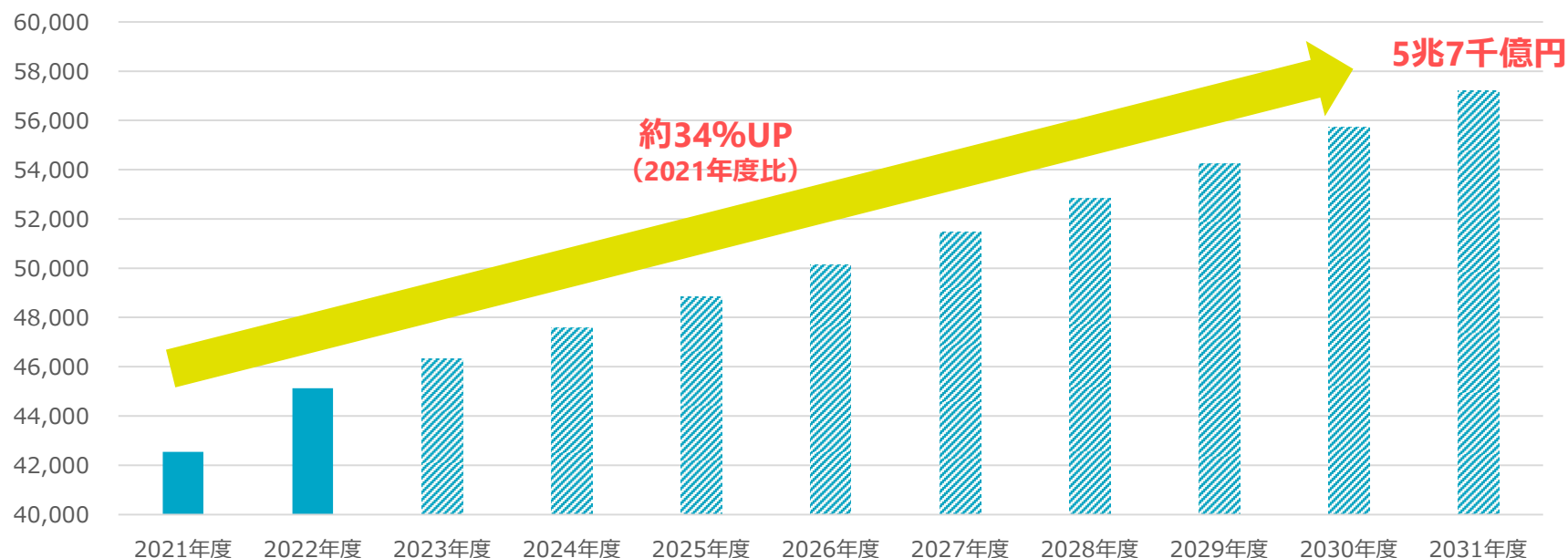


(1) ビジネス環境（沖縄県経済の見通し）

沖縄県による基本構想「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」では、県内総生産は、沖縄の特性を活かした観光産業の付加価値化や各産業のDX推進による労働生産性の向上等により、**2031年度には5兆7千億円程度**になることが見込まれています。

おきなわフィナンシャルグループは、こうした**県経済の発展に寄与し、ともに飛躍的な成長を遂げることを目指します。**

名目県内総生産（億円／名目）



出典：沖縄県「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画(案)」(※ 名目県内総生産の斜線部は出典をもとにした当社内の試算値)

<要因>

観光客の滞在日数の増加や観光の質の向上（本島北部やんばる地域の世界自然遺産登録、北部テーマパークの着工等）、
交通インフラの整備（2020年3月供用開始的那覇空港第二滑走路の本格活用、第2クルーズバースの供用開始等）

(2) 未来の沖縄県とOFGの目指す姿

沖縄県の未来のあるべき姿に対して、おきなわフィナンシャルグループは、地域経済の発展をリードし、ともに成長する「目指す姿」を実現すべく、過去の延長線上にない非常にハードルの高い目標（ムーンショット目標）を策定し挑戦することで、当社グループと地域社会の持続可能な成長・発展を実現する大きな飛躍を目指します。



※ムーンショット目標とは、非常に高いハードルではあるが実現すれば大きなインパクトをもたらす壮大な目標や挑戦をさす。

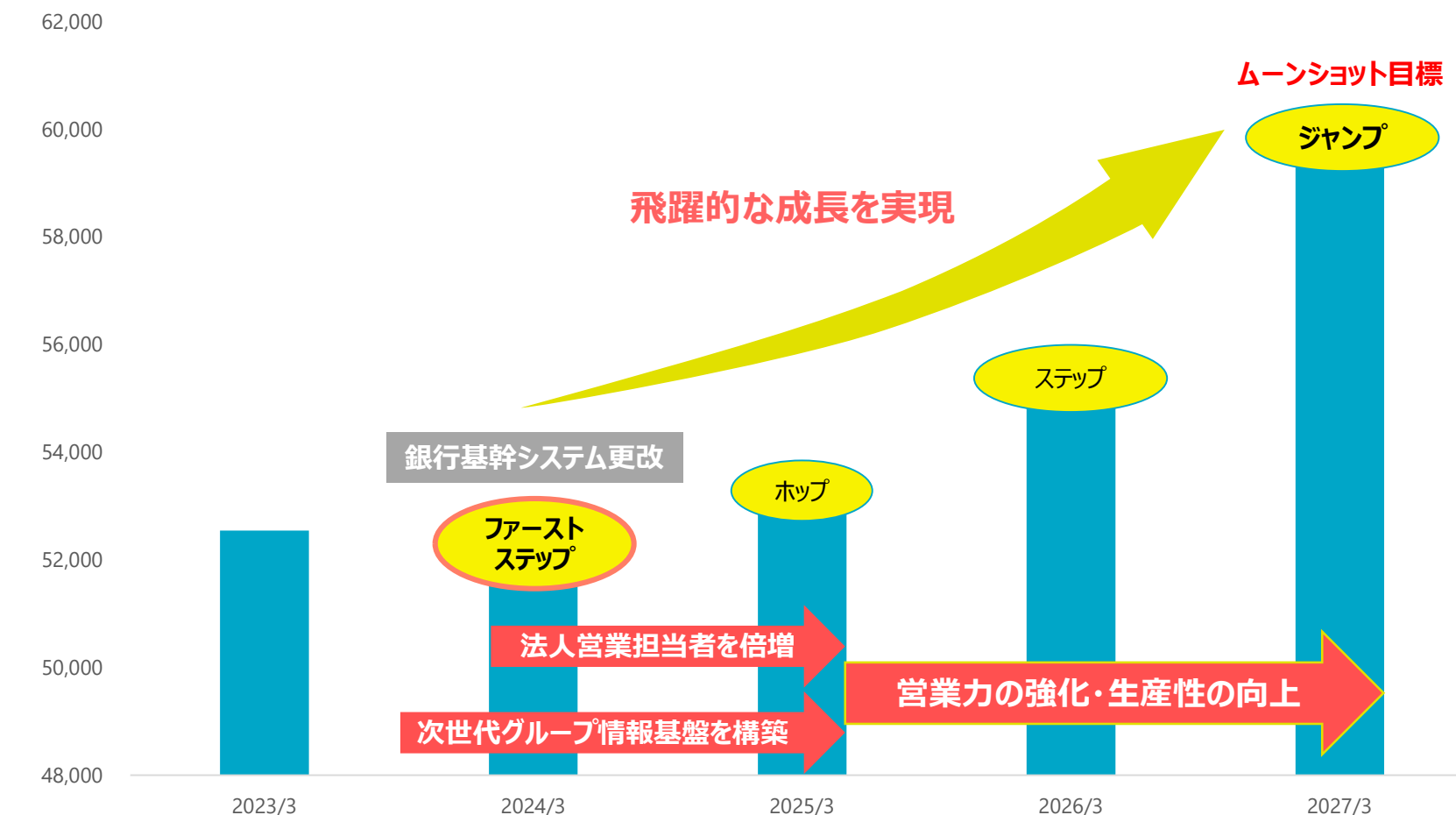
(3) ムーンショット目標で目指す経営指標

- 第1次中期経営計画で目指す経営指標については概ね達成見込みであることを踏まえ、3年目（2024/3期）の時点で挑戦的な目標を開示し、その**達成に資する取り組みに早期に着手**することで、飛躍的な成長発展を目指します。
- ムーンショット目標は、**2022/3期比で連結経常収益は約100億円の増加、連結当期純利益は2倍となる100億円台**とし、**連結ROE6%程度**とします。

項目	2022/3期 実績	2023/3期 実績	2024/3期 予想	第1次 中計目標 (2024/3)	2027/3期 ムーンショット 目標	備考
連結経常収益	504億円	526億円	527億円	非公表	600億円	トップライン伸張による成長実現
連結当期純利益	50億円	58億円	61億円	60億円	100億円	純利益100億円台
連結ROE (株主資本ベース)	3.25%	3.70%	非公表	4%程度	6%程度	ROE向上による企業価値向上を実現
連結自己資本比率	11.09%	10.77%	非公表	10%程度	11%程度	県内トップ水準維持

(4) ムーンショット目標達成までの経常収益計画イメージ

連結経常収益600億円の達成に向けて、貸出金利息および非金利収益の増加に向けた法人営業担当者の倍増やグループ全体の生産性向上を目的とした次世代グループ情報基盤等の準備を進めています。これらのグループ内環境を整備を土台に、ムーンショット目標達成に向けた飛躍的な成長を実現してまいります。



単位：百万円

(5) トップライン伸張による成長項目内訳

成長項目内訳

- 2027/3期ムーンショット目標トップライン600億円
- 貸出金利息、非金利収益、グループ会社を中心としたトップライン伸張で、2022/3期比+約100億円

項目	2022/3期実績	2027/3期ムーンショット目標	増減
貸出金利息	241億円	292億円	51億円
有価証券利息配当	36億円	43億円	7億円
非金利収益 ※1	26億円	47億円	21億円
トップライン4社※2 +みらい	159億円	210億円	51億円
その他※3	41億円	6億円	▲34億円
合計	504億円	600億円	96億円

※1 (非金利収益) 投信・保険、M&A・ビジネスマッチング、キャッシュレス、その他手数料

※2 (トップライン4社) リース、JCB、証券、OSPO

※3 (その他) 内部取引等

